

本スレの選評・レビューを転送したページです。

- [断罪のマリア](#)
  - [レビュー1](#)
  - [レビュー2](#)
  - [レビュー3](#)
  - [レビュー4](#)
- [ジョーカーの国のアリス ~ Wonderful Wonder World ~](#)
  - [レビュー1](#)

(タイトルは発売日順)

## 断罪のマリア

### レビュー1

951 名前：名無しって呼んでいいか？[sage] 投稿日：2009/02/25(水) 03:09:50 ID:???

立ち絵の顔の崩れが激しい。これほんとOK出て良かったのかな、と見てる方がハラハラする。  
立ち絵のポーズのセレクトもよくわかんない。神父細っ！！(ほんとに叫んだ)  
スチルは立ち絵より多少マシ程度。  
名前入力があるのに、呼ばれるのはほぼ最初から最後まで洗礼名(固定)。  
(デフォ名でやる人なんて不快感はないけどツッコみたくはなった)  
シナリオはうす〜く水で薄めて伸ばした感じ。  
なんで入れたのか不明なシーンが多すぎる。何かの伏線かと思ったら、最後まで回収されない。  
風呂敷広げすぎて回収しきれなくなったと言うよりも、そもそも回収する気もなく書き散らかした感じ。  
その変わり(?)、書き込むべきシーンが全く書き込まれていない。  
死んだと思った仲間の生還シーンとか5行。  
シーン、シーンがブツ切りで前振りも余韻もいっさい無し。作文かと。  
章毎とかでなく、突然第三者視点が挿入される。  
とにかく前後のシーンの繋がりが薄い。全キャラ健忘症疑惑。  
主人公が好かれる過程や決戦への流れなんかはご都合主義極まりないのに、エンディングだけ妙にシュールなのは、わざと鬱っぽいエンディングにしたいからだとしか思えない。  
キリトENDだと役目が終わったから帰らなきゃ...とか言うのに、ウリエルENDだと当然のように日本にいるんだぜ？  
矛盾点とか流れる的におかしいところが多すぎてツッコむのに疲れる。  
とにかく最初から最後までうっすらと苛立つ作品です。

これは人それぞれかもしれないけど、内容だけなら口ゼのが断然許せる。(バグとか対応とかはまた別で)

>>957

今まで見た中でお答えすると、一番グロイと思ったのは、攻略対象の悪魔が雑魚悪魔の肩口食らってるスチルですかね。  
あとは、同上の首スパーンとか、天使の心臓引っ張り出すシーンくらいです。  
あと、グロくはないけど、>>965の自傷シーンもしっかりスチルにあります。痛いのが苦手な人はキツイかも。

どっちかという、スチルよりも描写の方がグロイと思います。  
まあ、どっちにしても全年齢ではないわな。

ちなみに、エロ方面だと、寸止めすれば全年齢とか思ってんじゃねーよ！？的なシーンがあるとあるルートでありました。  
その後茶化そうとしてるのが逆に痛かったです。

### レビュー2

965 名前：断罪のマリア[sage] 投稿日：2009/02/26(木) 12:06:33 ID:???

断言しよう、今作品は乙女ゲーム界に革新をもたらすと

前作プリンセス・ナイトメアで不評だった「変身シーンのスキップ」及び「過去ログ表示」を改善した花梨は今作では主人公の名前変換機能を付け加えてくれた  
しかし、残念なことに終始洗礼名であるマリアとしか呼ばれる事はない  
一部噂では、名前を変更しても終盤では初期名に戻されるとも

さて、肝心の本編だが  
手枷付きでの登校  
裸で添い寝してくれる悪魔



将来は怖いわ、どこか含みはあるわ、で全くトゥルーEDだと思えない、よくてアナザーEDだろう...とそれでも恋愛をしている、まだ許せた。

## レビュー4

914 名前：名無しって呼んでいいか？[sage] 投稿日：2009/09/14(月) 00:42:18 ID:???

改めてパッケージを見直し、驚愕の事実気付く

「エクソシストは、恋などしない。」

「乙女と少年たちが描くエクソシスト・アドベンチャー」

乙女ゲーならあるはずの「恋愛」の2文字は無い

そう、「断罪のマリア」は乙女ゲーではなかったのである

発売前パッチも凶悪プロテクトも無しにストーリーのみのクソさで他のゲームを凌駕する、まさにこのスレにふさわしい作品といえよう

乙女の需要を全く無視し「鬱グロ」という脅威の新ジャンルを立ち上げたグロ表現を内容・スチルにとどまらず立ち絵の人体構造にも取り込む徹底振りだ恋愛出来ない乙女ゲーという、ユーザーに一切媚びないその姿勢には脱帽せざるを得ない

もっとも有名な攻略対象が死ねを連呼しつつ自身を鞭打ち、敵キャラは素通りしてプレイヤーに精神攻撃を与えるという大胆かつ斬新な戦闘シーンにはもういっそ笑いがこみあげてくる

何度も見ることになるカットインに「高潔なる天使～」とのセリフが入るが何度聞いても最初の子音が切れており「オケツなる～」としか聞こえないひょっとして笑いを与えようとしてくれているのか

ラブラブに終わるのかと期待させておいて突き落とすラストシーンもしくははかるうじて辿り着いたハッピーらしきエンディングにも天使病（エクソシストは体中から羽が生えて繭になって死ぬ）設定で釘を刺しかりそめの幸せであることを匂わせる心憎い演出を忘れずえげつないBADエンドは、グロ描写にも年齢制限が必要だということを再認識させてくれる

さらに特筆すべきはランダム発生のオート・セーブ消去機能であろう襲い掛かる鬱グロ展開に憔悴しつつも必死で萌えを探し、クリアを目指すプレイヤーに対し無理はするなとそっとセーブデータをふっ飛ばしてくれるかつてない親切設計にはもはや涙が止まらない

エンディングを迎えたときのあのやるせなさは鬱とグロを乗り越えて必死に萌えを求めた勇者のみに与えられるが達成感はなく途中で投げなかった自分を責めずにはいられない気分にしてくれる萌え要素が完全に無いわけではないむしろ有るからこそ思うのだ

バグでもいいからBestエンドをみせる！と

三冠を妨げるがごとく現れたスーパーノヴァ「断罪のマリア」に対し王者はどれほどの核兵器を投下してくるのか

万聖節前夜が楽しみでたまらない

## ジョーカーの国のアリス ~ Wonderful Wonder World ~

### レビュー1

41 : ジョーカーの国のアリス : 2010/01/13(水) 13:25:45 ID:???

厨二病な内容でも面白い作品は世の中に多々あるが、これはダメだ。リアル黒歴史な出来でこちらが恥ずかしくなった。アリスモチーフというだけで売ってしまった鳩蟻がロゼを調子付かせたのか...

鳩蟻ですら絵がひどかったのに、新作の度にますますひどくなる絵。自ら黒歴史を増やしていく姿には関心さえする。

黒蟻で攻略対象から外され、今回復活したかと思われた2キャラのうち、なんと1キャラは攻略できなかった。一応エンドはあるが、何だこの扱い。ベテラン声優を連れてきてこの有様である。他キャラのイベントでこのキャラが出張ってくるシーンがあるのだが、なぜこれをこのキャラのエンドに持ってこれなかったのかと思ったりした。

システムはロゼなりに頑張ったらしい。しかしやっと他のPCソフトに並んだというレベル。大きいバグはないが失笑ものの誤字脱字誤用は健在。そしてプレイヤーに腱鞘炎を起こさせたいがためにこうしているとしか考えられない程の作業クリックゲーである。連打せずまともにシナリオを読んでいたらプレイ時間にどれだけかかるかわからない。連打していてもやたら体力と時間を浪費する。高い金を払わされ、認証を乗り越えてこれである。ひどい。

絵のレベルは公式サイトを見ればわかると言うが、あれでも一応サイトに載っているものは、ロゼの中ではまともな出来と判断したものようだ。今回もひどい骨折っぷりであった。ゲーム中で四季が味わえるのだが……四季を表したいのかなんなのか、絵の配色のキツさが増している。モニターの色彩設定がおかしくなったのかと素で思った

以前の自分は「まあ色が全体的に淡ければまだ見れる絵ではある」と思っていた。「黒蟻では鳩蟻より大分上手くなったし、このまま上達すれば見れる絵になるだろう」とも思っていた。ご覧の有様である。

むしろよくここまで劣化した。もう劣化しようがないと思っていたが、仮にも商業作品でこんなにひどくなるとは思わなかった。まずほぼすべてのCGで、キャラが見ている方向がおかしい。明後日どころじゃない。目線が合わないのは当たり前。お前達それでほんとに恋人同士なのかと。それだけではない。どう見ても足が地面に埋まっていたり、人が斜めに立っていたり、左腕が右腕の半分長さしかなかったり、手足があらぬ方向に曲がっていたり、遠近感がおかしく姉の膝程の身長しかないアリスがいたり、軟体人間がたくさんいたり、髪や服が重力に逆らっていたり…とにかくひどい。シュールという言葉で済ましてしまえるレベルではない。どのCGもやたら間抜けなのである。また、攻略対象でなくアリスがメインのCGがやたら多い。まあロゼの他作品もそうだけど。あと無表情ってレベルじゃねーぞみんな！ 生気が感じられない、人間らしきものが画面にたくさん並んでいるのだ。ひどい。コピペもやるならもう少し上手くやればいいのに…と思うくらいあからさま。背景の木やキノコならまだしも、攻略対象である双子までコピペする始末。

こんな絵では色を淡くしたところでダメである。ゴミはゴミでしかない。ロゼの絵は全部描き直す以外の方法では商業レベルに持っていけない。しかしロゼはそんな絵でもリサイクルしていた。間違い探しのような差分CG、攻略キャラだけ入れ替えアリスは切り抜きなCGも多数あった。

日本語崩壊、アルツハイマーな水増し繰り返しシナリオも健在。擬音多用については今までのロゼと比べても7割増し。ライターはご乱心です。めろめろめろめろ。

複数キャラの同時攻略は不可能であるにも関わらず、各キャラのイベントの約半分は、他キャラルートでも使い回されている。ひどい。しかも別キャラルートでカウントされている分は既読判定されない。強制スキップ機能があったことだけは評価したい。

主人公は恋愛はしているかもしれないが、あまりの悲観っぷり流されっぷりについていけない。ただ、奇天烈な攻略対象達に慣れてしまったのか、主人公が病んでいる感じの描写は減っていた。流され方の方向も少し違って、前作までは危険な攻略対象達の無茶な行動に呆れつつも流される、肝心なところで自己主張を手放す主人公だったが（しかし肝心なところ以外ではぐだぐだした主張を語っていた）、今回は仲良く遊んでるうちにいつのまにかイチャイチャし始めていた。これがピッチか。甘いと言えば甘いかもしれない。

全年齢対象なのにやたら性行為をほのめかすような文章があるのも相変わらず（ほのめかすところがガチなのもあるが）。

主人公がいる布団に遠慮なく入ってくる攻略対象達。そんなことをしそうにないキャラまで入ってきた時にはさすがに絶望してクリックする手が止まった。ロゼが大好きな殺すだの殺されるだのイベントもある。というか増えた。繰り返すがこのゲームは全年齢対象である。

鳩蟻はクリックの辛さを味わいながらもなんだか楽しめた。黒蟻もバグにあたりPCが壊れるまで、内容は楽しんでやっていた。けれど今回は声優さんの声になんとか萌えたくらいで、他に覚えているのはただひたすら「ひどい」と思ったことだけだ。その声優が読むのもアルツハイマーな文章なのが問題だが。

イチャイチャしてる描写はあるのにまったくニヤニヤできなかった。

好きなキャラもいたのだが...絵とシナリオ劣化のせいで、「攻略対象全員同じキャラに見える」現象が加速していたためか、好きだったキャラにももう萌えることができなくなっていた。

時間の無駄だった。